

校長のつぶやき II

校長室便り 第28号

令和2年9月3日 山内

○体育祭 - 8月28日(金) → 8月31日(月) → 本日「大事なものは形ではなく真心」-



2度順延となった体育祭、前夜からの雨でグラウンドコンディションは不良、8時過ぎの職員打合せの時は強めの雨も降っていました。やるべきかそれとも中止とすべきか。先生方の意見を伺いました。3年生の担任の安西大地先生が「3年生は今年何も行事がないまま卒業となります。なんとか体育祭やっただけではないでしょうか」一時間くらい様子を見ることになりました。私は職員室から校長室に戻るときはできるだけ3年生の教室を見ながら戻るようにしています。今朝は何人かの3年生が「校長先生、体育祭やって」と直訴してきました。担当の矢内先生はじめ先生方もなんとか岩高生のためにとグラウンドを作ってくれています。祈りが通じて雨が小降りとなり、一時間遅れながら体育祭の「リスタート」です。体育祭と言えば、生徒代表の「選手宣誓」、体育行事委員長の3年生野球部・松浦力樹君の力強く・感謝の気持ちに満ちた「コロナ禍でも実施していただけることに感謝して、最後まで正々堂々と戦います」という言葉ではじまりました。男子のドッジボール、女子のドッジビーから競技が始まりました。グラウンドコンディション不良に加え、慣れない入退場や準備やりに予想以上に時間を費やしました。体調面や3年生は外部の方をお呼びしての面接練習等のことを考え12時30分には全競技を終える予定でしたが、バレーボールの準決勝の時点ですでに12時を回っていました。綱引き等はグラウンドコンディションのこともあり割愛し、最後は1組・2組・3組の縦割りリレーだけを行いました。

3月の卒業式お世話になった先輩達を見送ることができなかった。離任式お世話になった先生方を直接見送ることができなかった。入学式も縮小された形。総体はない。代替大会ですらない競技もある。そして今回の体育祭も縮小。この一年を象徴しているような行事でしたが、完全な形ではなくとも、そこには先生方をはじめとする関係の方々の尽力で「今できる最善の方法、真心のこもった行事」を再確認できたと思います。体育行事委員、運動部員、生徒会役員の皆さん裏方をありがとう。そして何より、3年生は後輩に対しての威圧的な行為等は一切無かった。それどころか、率先して3年生が働いてくれていた姿を見て本当にすごいなと感心しました。後片付けが終わったのが15時くらいでした。「岩高まつり」大成功だと思います。岩高生の皆さん、これからも「大切なのはうわべの形ではなく目に見えない真心」を実践してください。

○3年生面接練習 -外部講師の方から-

9月1日(火)より株式会社ヘキサの進路サポート事業部竹田マネージャー様はじめ多くの講師の方々にわざわざご来校いただき、3年生への面接指導を行っています。さすがに「プロ」だと思いました。

○オープンスクール -中学生来校-

9月5日(土)中学3年生を対象にオープンスクールが本校で行われます。天気が少し心配ですが、中学生のお越しをお待ちしています。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。